

平成 29 年度京都大学吉田地区 ESCO 事業提案審査の講評

京都大学吉田地区 ESCO 事業は、民間のノウハウ、経営能力及び技術的能力を活用することによって、京都大学における省エネルギー化を推進し、環境負荷の低減並びに光熱水費の効果的な削減を図ることを目的としたものであります。先般、平成 29 年度事業に対して、広く事業提案を募集したところ 2 企業グループから参加表明及び選考用提案書が提出されました。

京都大学吉田地区 ESCO 事業審査委員会は、これらの提案書に基づき各企業グループのプレゼンテーションを受けヒアリングを行うとともに、提案審査要領に則り厳正かつ慎重に審議した結果、最優秀提案者として(株)OGCTS を代表者とするグループ、優秀提案者として(株)関電エネルギーソリューションを代表者とするグループを選定しました。

最優秀提案者は、各年に十分なエネルギー削減量が見込め、財政面において契約期間中の大学利益総額が大きいこと、環境面においては全ての対象施設で一定以上の二酸化炭素削減率を確保し、二酸化炭素の削減効果が高く地球温暖化対策が有効であることなどを高く評価しました。

優秀提案者は、提案に対する安全性・信頼性・災害時等を含む緊急時対応策が明確であること、また、コミッショニングを適用した運用改善に関する効果的な提案がなされ、その計測・検証方法も含めて、内容や根拠に妥当性があり、全体としてバランスの良い提案がなされ、技術面において優れていることを評価しました。

今回の各社の提案には、照明設備の LED 化、空調設備の高効率化、搬送動力の削減化、熱源設備の運転順位の適正化など、コミッショニングを適用した運用改善案も含め、省エネルギーと二酸化炭素の削減につながる意欲的で優れたアイデアや、ライフサイクルでみた廃棄物や環境負荷低減を目指す取組みが盛り込まれていました。

本事業の実施にあたり、こうした高い技術力と多角的な視点に基づいた貴重な提案をいただき、かつ多大な労力をご提供いただいた提案者に、心から敬意と感謝の意を表しお礼を申し上げます。

平成 29 年 11 月 15 日

京都大学吉田地区 ESCO 事業審査委員会委員長

前 一廣